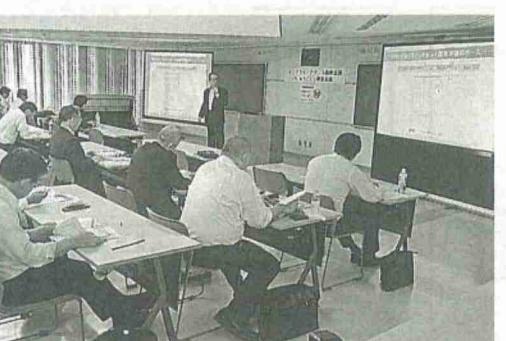
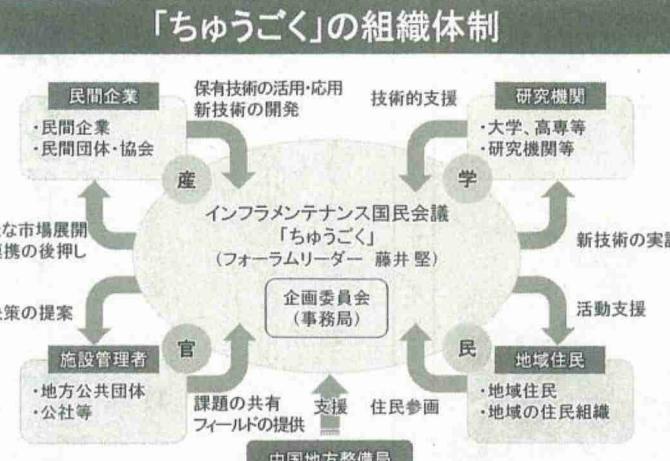


メインフラ 国民会議「ちゅうごく」

高度経済成長期に建設されたインフラの老朽化が急速に進む。それに対する国民意識を高揚させ、限られた予算の中で、確実かつ効率的なインフラメンテナンスを実現しようと「インフラメンテナンス国民會議ちゅうごく」（フォーラムリーダー・藤井堅広島大学大学院工学研究科特任教授）が設立された。施設管理者となる地方自治体が抱える中国地方独自の課題に着目し、産官学民の技術や知恵を総結集。オープンイノベーション手法などにより、官民相互のニーズを深掘りしながら、ベストプラクティスとなる課題解決策を導き出し、全国へ水平展開させる。

日本会議から、中国地方開拓の課題や悩みに対しても、国土交通省が首頭を立てて、平成28年11月にさされたインフラメンテナンス国民会議の中国版。中国地方整備局は、中国地方ならではの技術をマッチングし、それをベストプラクティスに昇華させた上で、中国地方に水平展開していくことをねらいとしている。

（イ）インフラの維持管理・更新を再構築し、次世代のインフラメンテナンス



会議のもよう

うではダメ」と指摘。人任せでなく、自らが「きることをみんなでやる」ことを強く呼びかけ、身の丈にあつた維持管理や国民への理解促進、意識改革などを訴える。

企業と連携した中国地方の「開拓開発」地域において、市民等の連携の促進――の3点の活動テーマに取り組み、確実かつ効率的なインフラメンテナンスの実現を図ること

では、施設管理者のニーズを的確に把握することで保有する技術の活用。応用及び新技術の開発に役立つというメリットがうまれる。また、研究機関では、課題等の情報共有が図れるとしている。「民間企業と連携した中国地方発の技術開発」では、主にオープンイノ

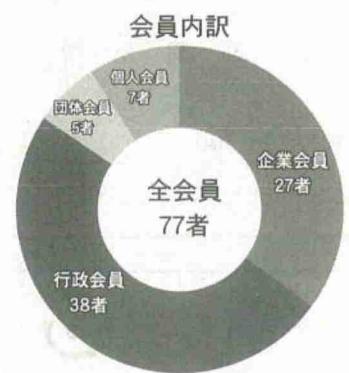
方自治体等の実績確保や、異業種間企業との連携により開発コストの分散・縮減などが期待できることとしている。さらには、研究機関にとつては、フ

発見すると、スマホで撮影。その画像とコメントを他の人に。 RSS、ツイッ

中国地方での先進的な取組

みがあげられる。活動は、同校・道
国道事務所岡山維持所・岡山北部維持
の3者で取り組むもの。具体的には、授業の一
環として、国道53号と180号の道路を生徒が
徒歩でパトロール。その際、スマートフォンの
『クラウド型パトロール支援サービス』を利用
する。パトロールで異常箇所を発見した場合、
この活動により、生徒はインフラメンテナンス
の重要性を現場で習得。あわせて、社会に貢献す
る建設業のやりがいなどを理解でき、坦い手不足
に悩む業界への入職希望が高まることも期待され
ている。

今年度からは、笠岡工業高等学校や津山工業高等
等学校でも同様な取り組みを展開。「高校生パトロール隊(仮称)」岡山モデ
ルとして確立させ、全国へ水平展開させていきた
いとしている。



国民會議「ちゅうごく」 会員への申込方法

ての地方自治体が行政会員として名を連ねることを期待している。

会員の種類は企業会員、行政会員、団体会員、個人会員、特別会員、賛助会員の6種類あり、会員費は基本的に無料。国民会議「ちゅうごく」へ参加希望する場合は、まずはインフラメントナンス調査設計㈱内、電話082-506-1814、
国民会議への会員登録がなれる。
申し込み・問い合わせ先は、国民会議「ちゅうごく」企画委員会（復建

【鳥取県】鳥取県、鳥取市、米子市、三朝町、琴浦町、日吉津村、大山町、南町
【島根県】島根県、浜田市、益田市、江津市、雲南市、邑南町、隱岐の島

A black and white photograph showing three students from the right side. They are wearing green safety vests over dark shirts, white hard hats, and light-colored trousers. The student in the center is pointing at something on the ground or a low wall. In the background, a white car is parked on a paved surface, and there are some buildings and trees in the distance.

取り組みがあげられる。この活動は、同校・道路管理者の中国地方整備局岡山国道事務所岡山維持出張所・岡山北部維持工事を担当する維持業者の3者で取り組むもの。具体的には、授業の一環として、国道53号と180号の道路を生徒が徒歩でパトロール。その際、スマートフォンの「クラウド型パトロール支援サービス」を利用する。パトロールで異常箇所を

ら維持業者へと情報共有できる仕組みとなっていく。

この活動により、生徒はインフラメンテナンスの重要性を現場で習得。あわせて、社会に貢献する建設業のやりがいなどが理解でき、扱い手不足に悩む業界への入職希望が高まることも期待されている。

今年度からは、笠岡工業高等学校や津山工業高等専門学校でも同様な取り組みを展開。「高校生・バトロール隊(仮称)」岡山モデルとして確立させ、全国へ水平展開させていきたいとしている。

会員内訳	会員数
個人会員	77名
企業会員	27者
団体会員	5者
全会員	77者

会員の種類は企業・個人会員、行政会員、団体会員の3種類で構成されています。個人会員、特別会員、助会員の6種類があり、会員登録料は基本的に無料です。

国民会議「ちゅうじく」企画委員会（事務局）へメールすることで会員になれる。申し込み・問い合わせ先は、国民会議「ちゅうじく」企画委員会（復建調査設計課内、電話082-506-1814、担当・藤井、天満）まで。なお、国民会議「ちゅうじく」の会員数は77者で、うち行政会員は38者（5月29日現在）。事務局では、すべ

【鳥取県】鳥取県、島根県、浜田市、米子市、三朝町、琴浦町、日吉津村、大山町、南町、日南町
【島根県】島根県、浜田市、益田市、江津市、雲南市、邑南町、隱岐の島町
【岡山県】岡山県、岡山市、倉敷市、井原市、新見市、真庭市、美作市、矢掛町、吉備中央町
【広島県】広島県、広島市、呉市、尾道市、庄原市、東広島市、安芸太田町、大崎上島町
【山口県】山口県、宇部市、下松市、長門市、周南市、和木町

ての地方自治体が行政会員として名を連ねることを期待している。

献をPRできる。むじに、これら3テーマに共通した活動として、各地域で個性ある取り組みを展開していく。具体的には、各県単位でイベントを開催し、各県相互の交流機会を創出しながら、中国地方全体の機運を醸成させていくとしている。

通じて、インフラやメンテナンスへの関わりを深めるための実践活動を展開していく。この活動により、施設管理者のメリットとしては、地域住民のメンテナンスへの理解が促進されることなどがあげられる。また、民間企業や研究機関にとっては、技術力および社会貢

内容の実証ができ、将来を担う若手技術者の育成に役立つことをメリットにあげている。

方自治体等の実績確保や、異業種間企業との連携により開発コストの分散・縮減などが期待できることとしている。さらには、研究機関にとつては、フ